学校番号	3030

令和８年度　創造探究科

教科	創造探究	科目	高津 LCⅢ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	課題研究メソッド　2nd Edition　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題研究を通して、様々な社会課題を、創造的思考力を駆使して解決していく能力を育成することを目的としています。
・科目別に班を作り、課題研究のまとめとして論文作成に取り組みます。２年次の研究成果をふまえ、さらに深化させて最終的には口頭での発表や論文の作成に取り組みます。
・副教材として、啓林館「課題研究メソッド 2nd Edition」を使用します。

2　学習の到達目標

（a）探究活動について、プレゼンテーションの技術や論文作成の際に必要な知識や技能を身につける。
（b）得た知識・技能を用いて論理的に物事を考え、それを的確に表現する力を養う。特に、探究活動から得られたデータを適切な方法を用いて分析・活用し、批判的に考察し、判断したり他人が見てもわかるように表現したりする力を養う。
（c）倫理的に正しく研究を行う姿勢を養うことを前提とし、自ら積極的に課題設定や実験、資料調査等を行い、粘り強く理論的に考え、根拠に基づいて判断しようとする態度を養う。また、設定した課題に取り組み、論文作成等を行う中で、その内容の振り返りや考察を深め、改善したりしようとする態度や創造性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プレゼンテーションの技術や論文作成の際に必要な知識を理解し、それらをもとに研究を進めることができている。	授業で得た知識・技能を使って、論文や発表資料を作成することができ、それらを用いてプレゼンテーションを行うことができている。	班での活動や発表に積極的に取り組むことができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	研究・論文作成	追文献調査 追実験 結果分析 考察 まとめ 論文執筆	a: 収集した資料やデータを解釈・分析するため、適切な図やグラフを作成できる。 b:複数の根拠に基づいて、論理的な飛躍もなく分析・まとめを展開し、示すことができる。 c:研究ノートを適切に管理し、班員と協力して全ての活動内容を記載する。	論文	論文	研究ノート
後期	論文作成	論文執筆	a: 論文の書式を理解し、章分けや用語使用、語尾や時制の統一ができる。 b: 自分が調査したことや結果、考察を論理的に記すことができる。 c:様式に従い、班員と協力して論文を作成することができる。	論文	論文	論文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度